

一般社団法人日本家族看護学会
2022年6月臨時社員総会 議事録

日 時：2022年6月11日（土）16：30－17：00

場 所：Web会議システムによる開催

社員総数：48名

出席社員数：44名（Web会議システムによる出席35名、委任状9名）

Web開催出席社員：相墨生恵、池添志乃、伊東美佐江、内正子、門間晶子、上別府圭子、今野美紀、小林裕美、櫻井大輔、杉浦太一、鈴木和子、中野綾美、奈良間美保、新家一輝、野嶋佐由美、野間口千香穂、濱田裕子、深堀浩樹、藤岡寛、古瀬みどり、法橋尚宏、山本則子、山本真実（以上23名・50音順）

出席理事・監事：荒木暁子（理事長）、池田真理（副理事長）

（うち社員12名）浅野みどり、井上玲子、河原宣子、佐藤伊織、小林京子、長戸和子、藤井淳子、本田順子

石垣和子（監事）、泊祐子（監事）（以上50音順。全員Web会議システムによる出席）

議 長：荒木暁子（理事長）

幹 事：高山充（東邦大学）、杉村篤士（東海大学）

議事録作成者：杉村篤士（東海大学）

I. 開 会

開会時、有効委任状9名を含め44名の出席となり、総社員の過半数が出席しているため、日本家族看護学会定款22条に定められた要件を満たしており、社員総会が成立する旨が司会の井上玲子理事より宣言された。議長は荒木暁子（理事長）、書記は杉村篤士幹事（東海大学）で行われた。

II. 議事録署名人の承認

定款23条により、社員総会の議事録には議長と社員総会において選任された議事録署名人が記名押印または署名することが定められている。議事録署名人は、出席者から自薦・他薦での推薦がなかったため、議長から鈴木和子社員（家族支援リサーチセンター）と門間晶子社員（名古屋市立大学大学院）が推薦され承認が得られた。

III. 推薦理事の承認

定款第25条と役員選出規定第7条に基づき、会計担当理事の西垣佳織推薦理事、実践促進委員会の藤井淳子推薦理事の選任について、ZOOMの投票機能を用いて投票が行われた。委任状と賛成票数を合わせて44名、反対票数0名で推薦理事2名の選任について承認が得られた。

IV. 報告事項

1. 2022年度の新理事について <荒木理事長>

第3回理事会にて選任された荒木暁子理事長から、以下の挨拶があった。

前期で法人化を実現化され作り上げられた体制を、引き続き盤石化していくことに重点をおきたい。活動を活性化するために委員会を再編し、実践促進委員会、災害対策委員会、利益相反委員会を設置したことの趣旨を鑑みて継続していく。さらに、将来構想委員会が常設化されことも含めて、学会活動の取り組みの意義を引き継いで推進していく。APNの制度やコロナ禍、ウクライナ情勢を受けて、学会が政策提言をしていくことが重要であると考えため、今期の理事会では盤石化された体制のもと推進していきたい。

第3回理事会にて選任された池田真理副理事長から、以下の挨拶があった。

これまで研究促進委員会委員、前期では国際交流委員会委員長を務めてきた。今期は、会員の皆様とともに荒木理事長を支え、法人化された家族看護学会のミッションに貢献できるように努めていきたい。

荒木暁子理事長から新理事と幹事の名前を読み上げが行われ、下記の新理事と幹事から挨拶があった。

庶務担当理事井上玲子理事、編集委員佐藤伊織理事、教育促進委員長戸和子理事、実践促進委員会藤井淳子、研究促進委員会小林京子理事、災害対策委員会河原宣子理事、社会活動・政策委員会浅野みどり理事、国際交流委員会本田順子理事、将来構想委員会井上玲子理事、利益相反管理委員会池田真理理事、監事石垣和子理事、幹事高山充、幹事杉村篤士。

荒木理事長から、監事に泊祐子理事が着任され、広報委員会山崎あけみ理事と会計担当理事西垣佳織理事が欠席である旨が報告された。

2. 2022年度会員集会の開催について <荒木理事長>

第29回家族看護学会学術集会のなかで、2022年度の会員集会の開催を予定していることが報告された。詳細については今後に連絡することが説明された。

3. 第29回家族看護学会学術集会準備 <濱田社員>

濱田裕子学術集会長から以下の報告が行われた。

- ・2022年9月10、11日に福岡国際会議場で開催する。
- ・特別講演2本、学術集会長企画2本、教育講演2本、市民公開講座、ミニシアターを企画している。
- ・シンポジウム2本をホームページに掲載している。
- ・一般演題が74演題あり最終検討している。交流演題12演題、委員会企画6演題を予定している。
- ・2日目にランチョンセミナー2本を予定している。
- ・現地開催+オンデマンドでの開催を予定している。可能であれば一部オンラインのハイブリッドが可能かを検討している。
- ・事前登録期間は7月31日までである。

4. 第3回定時社員総会報告 <池田副理事長>

池田真理副理事長から以下の報告が行われた。

- ・上別府圭子前理事長から法人化において会員の皆様からのご協力とご意見への御礼が述べられた。
- ・委員会活動では、独立して強化された実践促進委員会と災害対策委員会の発表があった。将来構想委員会が定時の委員会になった報告があった。
- ・一般社団法人化したことで社員総会が評議員のみの参加となる。よって、定款にある、「30名以上」とある評議員を、これまでの30名から48名に増やした。
- ・決議案として、2021年度の監査報告、2021・22年の各委員会の事業報告が承認された。第28回学術集会の報告があり、第29回、第30回、第31回の学術集会の集会長の承認が得られた。

5. 第30回家族看護学会学術集会準備 <荒木理事長>

荒木暁子理事長が山崎あけみ学術集会長からのメッセージを代読された。

- ・第30回学術集会は2023年9月9、10日に大阪大学 吹田キャンパス コンベンションセンターで開催する。多くの皆様にご参加いただけるよう現在16名の企画運営委員で準備をしている。

6. 第31回家族看護学会学術集会準備 <井上理事>

井上玲子学術集会長から神奈川県湘南地区での開催を予定し、企画・準備をしていることが報告された。

V. 閉 会

井上玲子理事より、すべての議題を終了し、17：00 に総会を閉会した。

2022年 6 月 11 日

議 長

荒木 暁子



議事録署名人

鈴木 和子



議事録署名人

門間 晶子

